

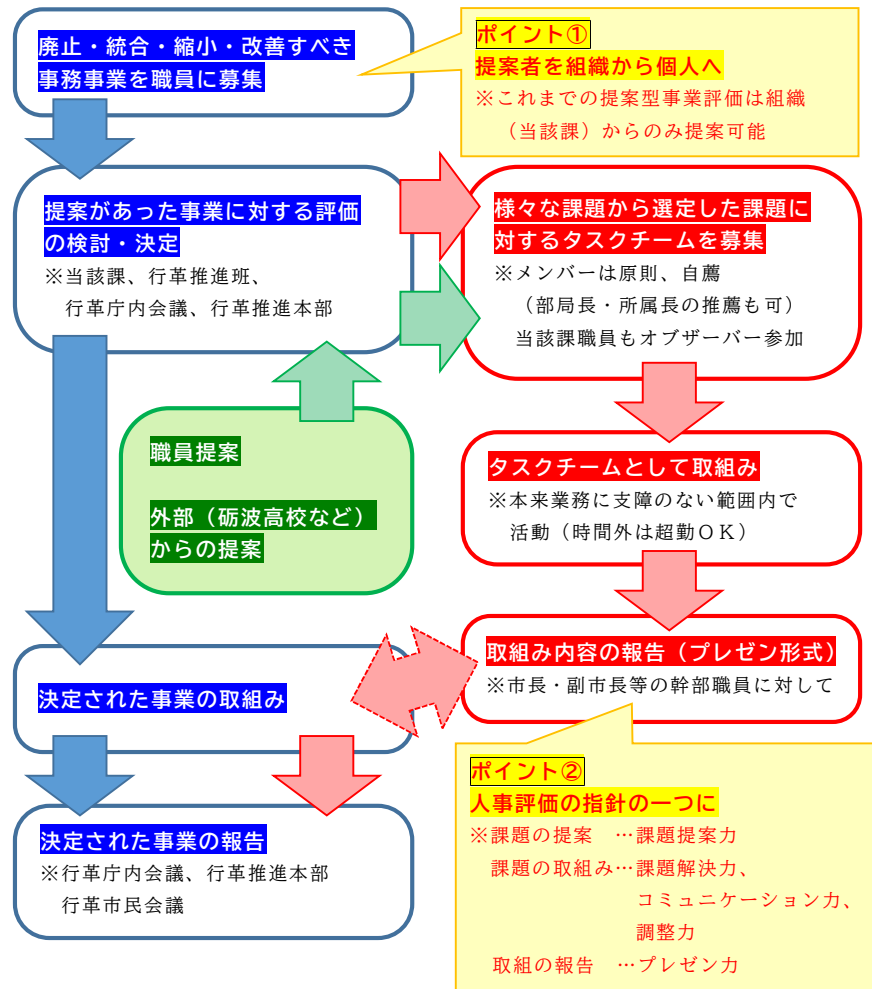
提案型事業評価に代わる新たな事業評価について

これまでの制度を見直し、提案内容を事務事業のスクラップに特化したものとし、提案者を組織（各部局等）から個人（職員等）へ変更することで、所属する部局を越えた広い目線で、活発な提案募集を目指すもの。

また、職員提案や外部（砺波高校など）からの提案、提言も含め、様々な提案に対する検討を職員自らがタスクチームを立ち上げ、職員の資質向上、人材発掘・育成に活かすこととする。

1 方針・内容

- （１）「事務事業のスクラップ」に特化した事業評価
- （２）職員の資質向上、人材発掘・育成にも活かせる事業評価



2 取り組みの流れ（スケジュール）

年 月	会議等	事業評価（スクラップ特化）	タスクチーム
4月～5月	職員に対して提案募集		
6月～9月	当該課 行革推進班 行革庁内会議	（提案事業の） 評価の検討	（提案事業のうち、縮小・改善の対象事業から） 課題の選定
9月	行革推進本部	評価の決定	課題の決定
10月	行革市民会議	評価の報告	課題の報告
	当該課	決定された提案事業の実施等	
	職員		タスクチームの募集
			タスクチームの決定
11月～1月	職員		課題解決に向けた活動
2月～3月	行革庁内会議 行革推進本部 行革市民会議	取組内容の報告	取組内容の報告 ※プレゼン形式など